

山梨県立八ヶ岳少年自然の家  
サウンディング型市場調査実施結果概要

1. 調査期間

(申込) : 令和7年11月19日(水曜日)から12月3日(水曜日)

(調査) : 令和7年12月23日(火曜日)

2. 参加事業者数

1者

3. 主な対話事項

(1) 民間事業者から見た施設の課題・魅力

ア 施設及び設備の課題・魅力

・敷地管理、空調設備、電気設備、厨房設備など老朽化が進んでいる箇所について整備していくことにより、利用者数の増加や利用満足度の向上につながる。

イ ソフト事業の課題・魅力 等

・施設内の豊かな自然を活かした活動プログラムとして、水についての学習プログラムを考えることができる。

・より幅広い年代層を対象とする企画として、中学生対象の学習プログラムを増やしていくことにより、利用者増につながる。

・家族のライフスタイルを考慮しながら、親子参加型の学習プログラムをすることで、リピーターの確保につながる。

(2) 民間ノウハウを活用した県民サービス向上に関する提案

ア イベント等の事業展開に関する提案

・地域の施設と連携を図るイベントづくりが必要。

イ 施設整備に関する提案

・キャンプ場に本館宿泊とテント宿泊の中間としてバンガローを設置して野外泊をしやすいことにより、利用者の確保につながる。

・ヤッホーの丘に給水用小屋を設置することにより、利用者の熱中症対策となる。

ウ 事業方式に関する提案

・体験格差も含み、野外活動の人材育成を行うために指定管理期間の延長がよい。

(3) 効果的・効率的な運営・維持管理に関する提案

・自主事業で日帰り利用者もいるので施設利用の場合、料金を徴収した方がよい。

4. 今後の対応

今回の提案を踏まえ、指定管理業務の検討に活用する。